

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

いただきます

神山山 6年 岩川 紗良

「来週は太忠岳登山だ。」

と弟はうれしそうに言っていた。2年生の弟は母と母の妹と2回も太忠岳に登っている。

そして、とうとう今日は太忠岳に登る日だ。弟と私はずつとまえから太忠岳登山を楽しみにしてまっていた。おかしをかたり、リユ

ックサックを用意したり、私は今日が楽しみでずつとワクワクしていた。弟は、ワクワクし

すぎておれなかつたのか、車の中ではずつとねていた。ヤクスギランドにいたとき、弟

が「ヤッター」と言っていた。いつもの弟なら「まだおむい

とおこつてまたねてしまうのに、今日の弟はぜんぜんちがうと思った。しかも太忠岳に登

り始めると、弟のテンションは、かなり上がった。ヒ中で「ここが休けい場所だよ。」

と弟がじまんげに教えてくれた。そばに行つてみると、屋根のついた所があつて、いすと

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

月 日 曜日

机もあつた。私は家族とろこで休んでおかし  
を食べた。おかしを食べていると、太忠岳の  
ことか頭にうかんできた。すごく高い岩の  
ことや風がふいていて気持ちが良いことなど、  
いろいろなことか頭にうかんできて、もつと  
ワクワクしてきた。

休けいか終わって長い道を進んでいくと、  
「サー」と風がふいてきて、きりがでてきた。  
だんだんきりがこくなってきて、一雨がぽつぽ  
つとふってきた。だからおばあちゃんに「今

日って天気予報は晴れだったよな。  
と聞いた。するとおばあちゃんが、「そうだよ。  
」と言った。話をしながら進んでいくと、雨が  
やんだ。すると、くもの巣が雨のしずくで光  
って見えた。キラキラ光る。私は、くもの巣  
が光るのを見て、「山って何度見てもキレイ  
だなあ」と思った。長い道を進んでいくと、  
サルノコシカケを見つけた。本当にすわれそ  
うなぐらいの、大きなサルのコシカケも見つ

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



20×20

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

けた。そして、歩きやすそうな長い道を通って、すぐ険しい道に出たとき、ロープが見えた。弟はそのロープを楽しそうにのぼっていった。私かのぼってみると本当に楽しかった。だんだんつかれてきたけど周りの風景を見るたびに、元気が出てきた。周りの風景に見とれていると、つかいたよとだれかの声がか聞こえた。お母さんの声だった。長いロープをつかんでのぼり、太忠岳についた。太忠岳についたときには、きりはなくなっていた。

太忠岳から見た風景は最高だった。太忠岳でごはんを食べる。「いただきます。家族全員声をそろえて言った。

太忠岳のてっぺんで食べるごはんは最高だった。

No. \_\_\_\_\_

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

